

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立東部中学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}

☒ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 440 - 0834

愛知県豊橋市飯村北4丁目1-2

E-mail toubu-j@toyohashi.ed.jp

Website www.toubu-j.toyohashi.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 385名 女子 433名 合計 818名

幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「生徒主体」を学校理念として、ESDを主体的に社会参画を図っていく機会と捉え、ESDの実践を通して、コミュニケーションを行う力の育成を目標とした。

具体的には、他者との協力、つながりの尊重を柱に、①交通安全、地域緑化に係わる活動、②あいさつに係わる活動を行った。

① 交通安全、地域緑化に係わる活動

「他者との協力」を掲げ、本校では交通安全活動である「STOP運動」、地域緑化活動である「フルフルFLOWERプロジェクト」を行った。

「STOP運動」では、S…左右確認・T…止まって・O…お酒はダメだよ・P…ピカッとライト、を合言葉に地域自治体や校区の小学校と連携し、全校生徒だけでなく、家庭や、地域に交通ルールの遵守や安全への意識向上を呼びかけた。また、地域緑化活動である「フルフルFLOWERプロジェクト」では、カラフル・ビューティフル、ユースフル、ワンダフル、の4つのフルの願いを込めて、地域自治体と協力しプランターを用意し、福祉施設へ送った。

地域自治体や校区の小学校と連携し活動を行っていく中で、自分たちの暮らす地域社会を基盤に、よりよい社会づくりのために社会参画を図っていくことの大切さややりがいについて触れていった。

② あいさつに係わる活動

「つながりの尊重」を掲げ、本校ではあいさつ運動を行った。

地域自治体やP T A、校区の小学校と連携し、校区全域でのあいさつ運動を展開した。本校生徒があいさつへ意欲的に取り組み、運動を主軸となって盛り上げていくために、全校集会では、あいさつの大切さを説いた内容の劇を取り入れた生徒発表を行い、啓発活動も行った。

「グッドモ・ア・イ（グッドモーニング・グッドアフターヌーン・グッドイブニング）」を合言葉に、朝のあいさつだけでなく、人とすれ違った際の一声を大切に取り組んだ。あいさつを通して、コミュニケーションの醸成や、つながりの大切さについて触れていった。



① S T O P 運動について、地域自治体・校区小学生へ説明する本校生徒



② 地域自治体・P T A・校区小学校と連携したあいさつ運動

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 朝の登校時間、夕方の部活動の時間)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

書籍：愛知県 中学生生活と進路

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間を使い、ユネスコスクール加入前より、特色ある学校づくりの一環として長期に渡り行ってきた活動に取り入れて実施している。ＥＳＤを行っていくにあたり、本校がめざす生徒の姿をＳＤＧｓの定めるゴールと照らし合わせ、１１：住み続けられるまちづくり、１６：平和と公正を全ての人に、１７：パートナーシップで目標を達成しようの３つのゴールの達成に向けて、常に指導の改善に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ユネスコスクール参加にあたり、本校では学校機構である校務分掌に「ＥＳＤ」という部署を設け、参加前まであいさつ運動や地域緑化運動を行っていた「総合的な学習の時間」担当と連携して、ＥＳＤに取り組める体制。環境づくりを行っている。また、地域自治体、校区小学校との連携については、教頭を窓口に関係機関と連絡を取り合い、活動の準備、企画、実施を行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部／外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

本校では、ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価方法として、マークシートと自由記述によるアンケートを行っている。アンケートの分析をもとに活動の評価と改善に役立てている。アンケートは、本校保護者と地域自治体、校区小学校を対象に行っている。

成果として、活動を学校外と連携して行っていることに好意的な意見が寄せられた。課題としては、連携を強化していくための打ち合わせや会議の時間確保があげられた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

本校では、ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法として、定期的に発行している学校機関誌やHPを活用している。内容としては、活動の実施や様子を広報している。保護者の方々を中心に、多くの人が活動について関心を寄せている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

学校以外の団体との共同・交流・ネットワーク形成に関して、本校では、ユネスコスクール前から構築している地域教育のネットワークを活用し、地域自治体・PTA・校区小学校との関係性を強化している。その一環として、地域合同会議であるTNP会議(東部校区ナンバーワンプロジェクト会議の略)を年3回行い、それぞれの立場から活動のふり返りや改善点の話し合いを行っている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成として、本校では、⑥で形成しているネットワーク先である校区の小学校と交流している。あいさつ運動や交通安全運動を協同して行い、活動のふり返りの交流や改善点についての話し合いなどを行い、関係性を強化している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校のユネスコスクールの活動の特色は、地域自治体、PTA、校区小学校と連携である。このネットワークを通して、本校生徒たちは、自身の所属する地域コミュニティを基盤に社会参画を行う機会を得ることができている。社会参画を通して、よりよい社会をめざし、自身の立ち振る舞いについて見つめ直すことができるようになったと感じる。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

地域合同会議であるTNP会議を年3回行い、地域自治体、PTA、校区小学校と活動方針や活動についての意識統一、準備・企画、運営を行っていく。

活動内容は、あいさつ運動、交通安全運動であるSTOP運動、地域緑化運動であるフルフルFLOWERプロジェクトを行う。

細かい活動内容は、TNP会議を主に行い、都度各関係機関と連絡を取り合い、協同して行っていけるように配慮する。